

鳥大附小の魅力紹介

2021 vol. 2

コロナ禍での学校行事

とその対応 Part. 1

鳥取大学附属小学校で行われているさまざまな魅力いっぱいの取組をご紹介します！

昨年度より、学校での教育活動全般に「感染予防対策」が必須となりました。新型コロナウイルス感染症の怖さは周知の通りで、本校でもその影響は多方面におよんでいます。ここでは、その主な影響と本校の対応策についてご紹介しましょう。

1. 登下校

本校では、原則徒歩か公共交通機関を利用し、1時間以内に登校できることを求めています。昨年度からは、公共交通の利用に不安がある家庭に限って自家用車での送迎を認めています。送迎のルールを守って、マナー良く登下校が実施できています。

2. 学習参観

これまで年に数回、保護者の皆様に子供たちが学ぶ様子をご覧いただく学習参観の機会を設けてきました。昨年度からは教室での密な参観を避けるために、1回の実施につき1日3コマ、3日間の参観可能時間帯を設定しました。保護者からは、都合の良い時間に参観できる、見たい授業や子供が見て欲しい授業を見ることができる、今後もこのスタイルでと、高く評価していただきました。

3. 夏休み作品展

子供たちが夏休みに取り組んだ自由研究や作品づくりなどの成果を、これまでは平日の放課後の時間帯に各教室に展示したものを保護者の皆様に見ていただいていた。今年度は昨年度に比べ感染状況が悪化していることから、教室に不特定多数の人が入ることを避けるために、土日を利用した休日開催とし、体育館、特別教室、廊下のワークスペースを使った作品展としました。ゆったりとした作品展示で、受付での検温や密にならない鑑賞環境、土日の実施など、保護者の感想も良好でした。

